

新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
長岡市記者クラブ
上越市記者クラブ
本誌投込みをもって解禁

新潟国道事務所
羽越河川国道事務所
長岡国道事務所
高田河川国道事務所

事故ゼロプラン

〈事故危険区間重点解消作戦〉

新潟県版



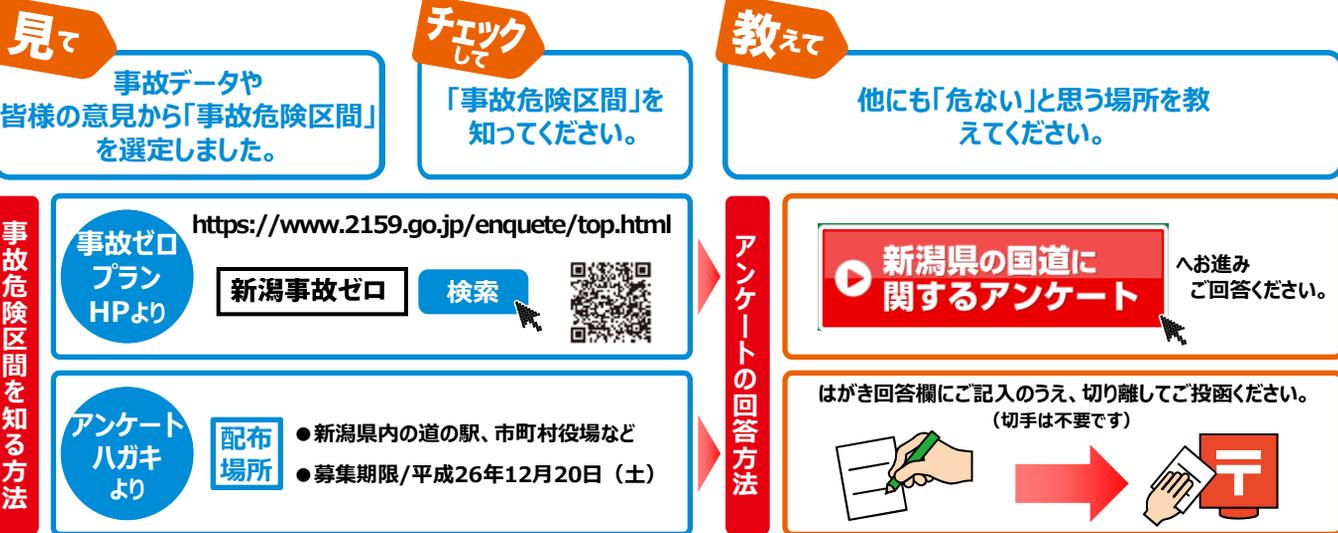
知っていますか？『事故危険区間』

～あなたの身近な危険箇所を知って、アンケートにご協力下さい。～

- 道路安全性検討委員会では、道路利用者の皆様から直轄国道（国が管理する国道）で、交通事故の危険を感じる箇所についてアンケートを実施しております。
- 平成25年度までに選定された「事故危険区間」を見て、チェックして、他にも「危ない」と思う場所を教えてください。
- また、「事故危険区間」のうち、早く対策を行った方がよいと思う箇所を教えてください。
- 皆様から頂いたアンケートをもとに道路管理者で確認を行い、「事故危険区間」への新規追加に反映します。

アンケートの回答方法

- ① ホームページの場合：下記のURLにアクセスしアンケートにお答えください。
事故ゼロプランHP <https://www.2159.go.jp/enquete/top.html>
- ② アンケートハガキの場合：アンケートハガキ回答欄にご記入の上、切り離してご投函ください（切手不要）。切り離れたアンケートハガキは、ヒヤリハットマップとして活用できます。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所
交通対策課長 大瀬 宝 (内線471)

電話 025-244-7770 (直通) FAX 025-246-7744

みんなの力で

事故ゼロプラン

〈事故危険区間重点解消作戦〉

新潟県版

事故を防ごう



事故ゼロプランとは

危険な道路を改善したり、一人ひとりが安全意識を高めたり、みんなで協力しながら交通事故を防いでいく取り組みです。

事故原因に
最適な対策を実施

安全な道路に直す



事故が多く
危険な道路
【事故危険区間】



危険箇所の
情報公表と意見収集

気をつけよう

みんなに
教えなげや



県内で対策を行っている国道(直轄国道)は **国道7** **国道8** **国道17** **国道18** **国道49** **国道113** **国道116** です。

交通事故を減らすため、
様々な交通事故対策
を行っています。

例えば、こんな
交通事故対策を
しています

県内の 交通事故状況

死傷事故の
約17%が
直轄国道で発生

直轄国道は、
県内全道路のたった**2%**
しかないのに。

県内の死傷事故は
件数・死者数ともに

減少傾向



全事故に占める
直轄国道の
重大事故は
全国の**約1.5倍**

全国 7.3% / 県内直轄国道 11.1%

県内総事故 8,383件
直轄国道の事故 1,449件
(平成24年)



事故ゼロプラン開始

まだまだ重大な事故は多いわ。
交通事故対策は
これからも必要ね。

交通事故対策の

いろいろ

主に幹線道路で一般的に行われている事故対策

例えば、**ドットライン**を設置

速度を抑制する

視覚・振動・音などの
効果でスピードを
抑えます。



ゆっくり慎重にね。

車線の幅を狭く見せ、無意識に
速度を下げるようになります。

道路を改良する

交通の円滑化や
視認性を向上
させます。

例えば、**右折レーン**を設置



追突を防止するんだね

右折車と直進車のレーンを分け、
通行しやすくします。

注意を喚起する

危険な箇所であることを
ドライバーに
認識させます。

**歩行者・自転車
事故を防止する**

歩道や自転車通行帯の
整備や、柵等の設置で
事故を防止します。

お問い合わせ先

「道路安全性検討委員会」事務局

代表：国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所 交通対策課 TEL:025-246-7770(直通)

■ 羽越河川国道事務所 工務第二課
■ 長岡国道事務所 交通対策課
■ 高田河川国道事務所 交通対策課